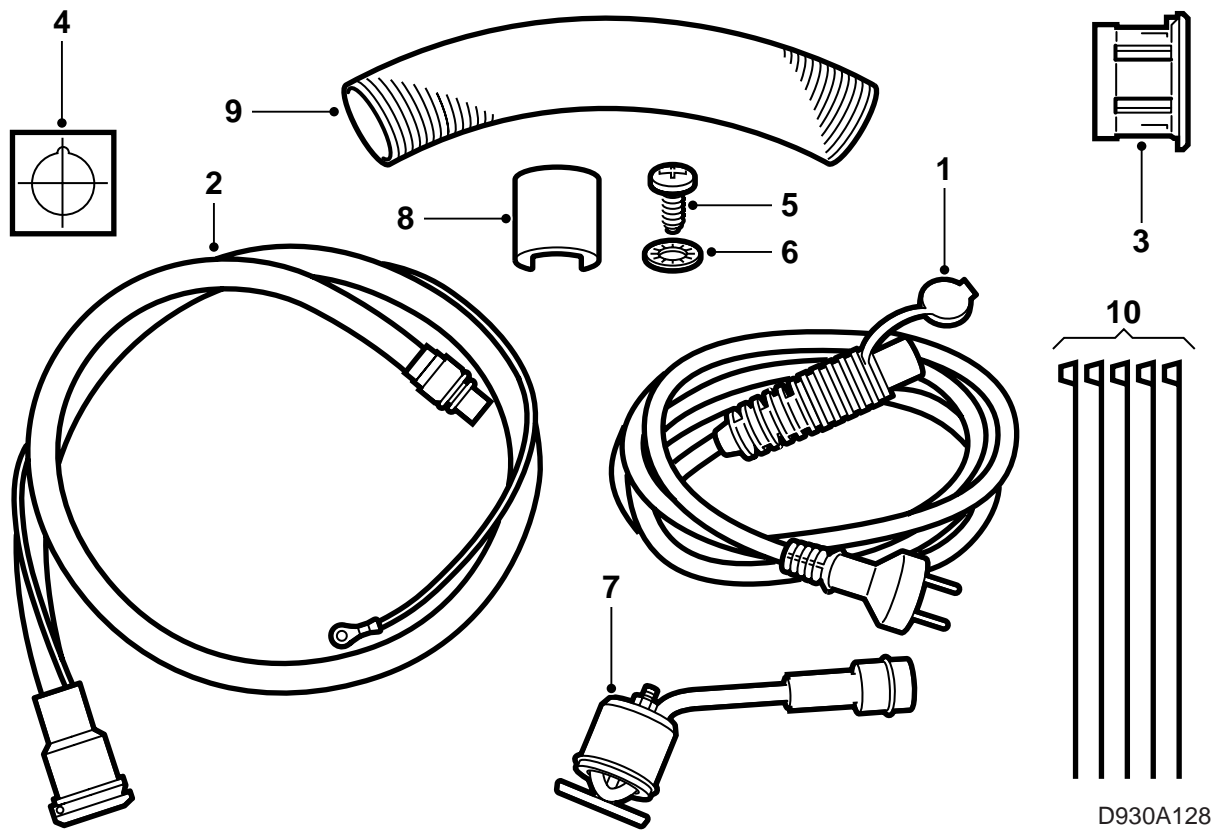


**SAAB****MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS  
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

## Saab 900 2.0/2.3 M94 以降、Saab 9-3 2.0/2.3

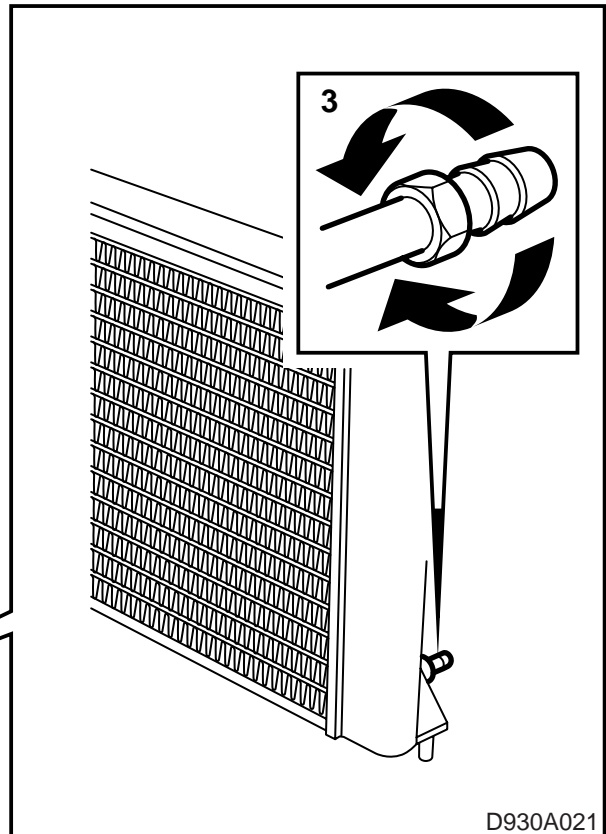
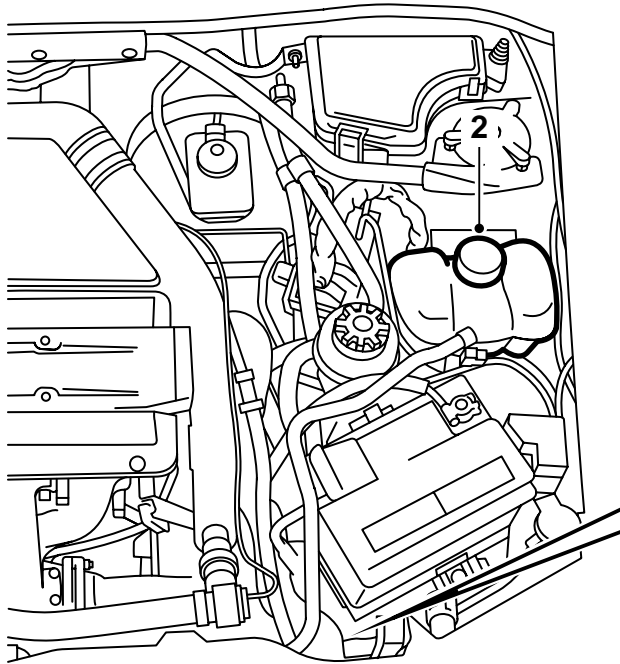
### エンジブロックヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 126 611	9:87-18	Dec 99	51 96 076	51 96 076 Aug 99



- 1 接続ケーブル
- 2 インテークケーブル付きインテークソケット
- 3 エキスパンディングスリーブ
- 4 粘着式型紙
- 5 ネジ 4.8x10、1本
- 6 歯付座金、1個
- 7 発熱体
- 8 ロッククリップ
- 9 ヒートインシュレーター
- 10 結束バンド、5本

**Saab 9-3 Viggen:** 座金 51 92 281 は別途発注のこと。

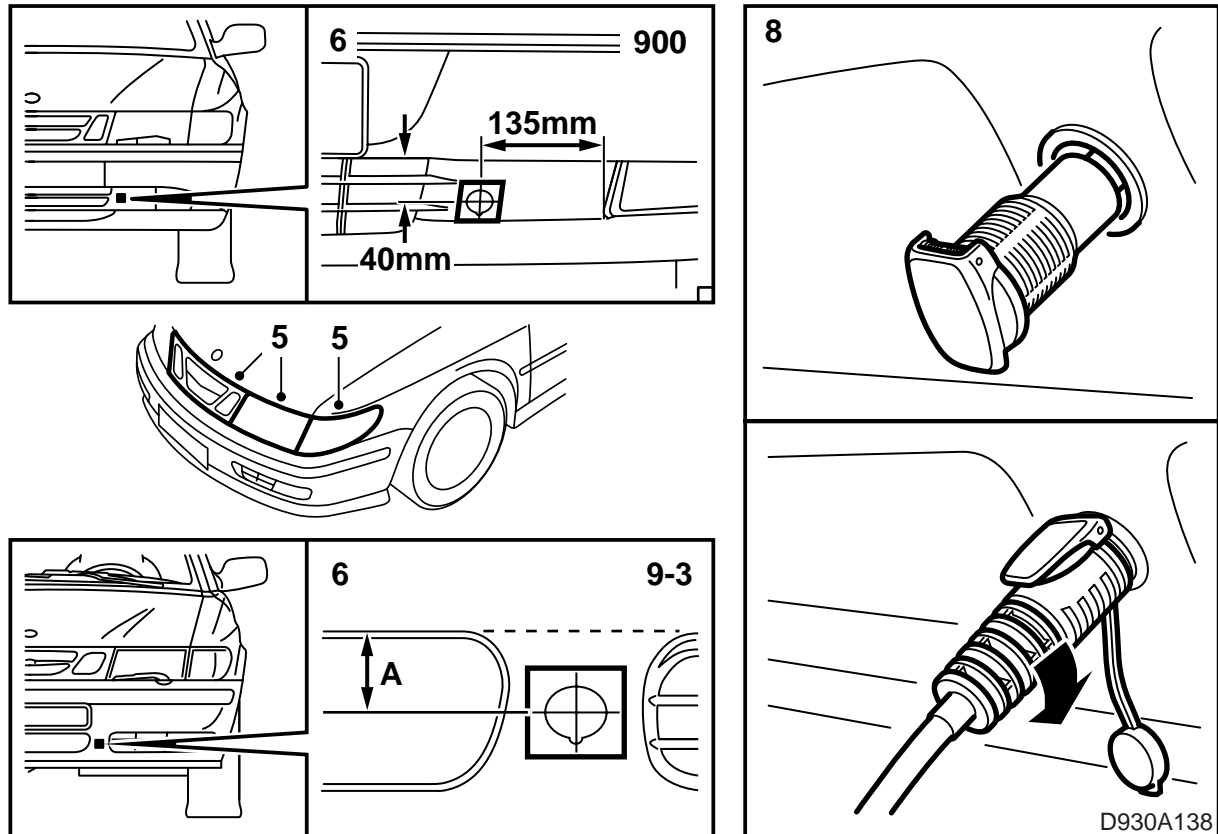


- 1 取付説明書全体をよく読み、キット内容物が全てそろっていることを確認する。
- 2 フェンダーカバーをかけ、冷却装置のエキスパンションタンクキャップを取る。

**⚠ 警告**

車のエンジンが暖まっている時には慎重を期すこと。冷却液が熱くなっている。エキゾーストマニホールドで火傷する危険性もある。

- 3 車をリフトアップする。冷却液を受ける容器を用意する。ドレインプラグを開き、ホースを接続し、冷却液を抜き取る。



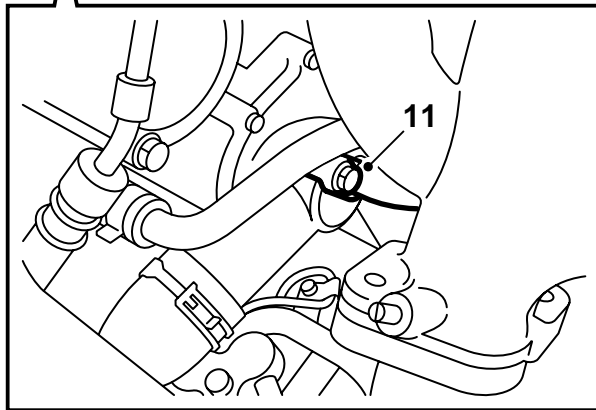
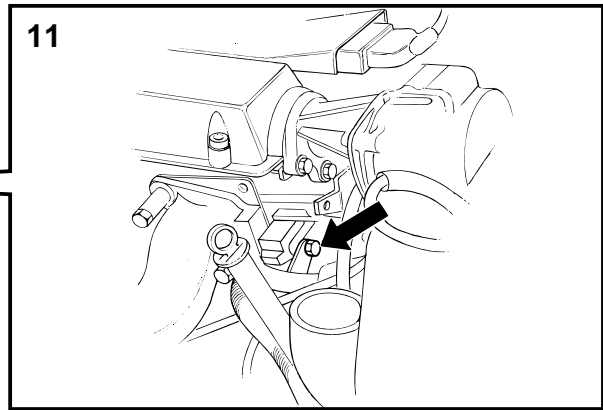
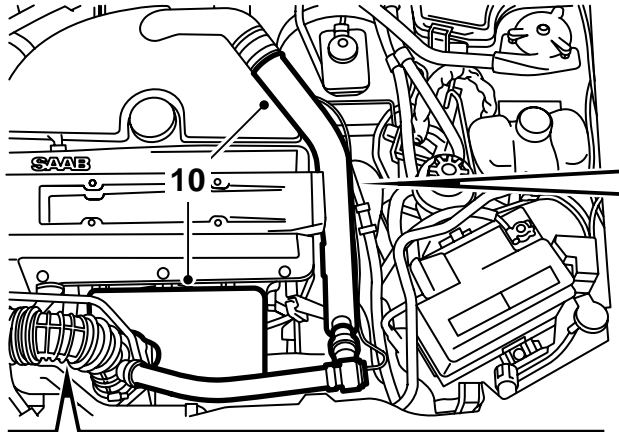
- 4 パンパーアウトテイクシングへのインタークソケット取り付けに適した作業高さまで車をリフトダウンする。
- 5 グリル、左コンビネーションランプ、左ヘッドライトを取り外す。
- 6 粘着式型紙を使って、インタークソケット用の切り欠きを施すべき場所に印を付ける。垂直の線は、両開口部の中心に配置する必要がある。図を参照し、バンパーの各開口部の上に定規またはテープをあてがい、型紙を配置すべき場所を割り出す。

**Viggen を除く Saab 9-3 全車：** A = 50 mm

**Saab 9-3 Viggen：** A = 52 mm

**Saab 900：** 図中の寸法を参照のこと。

- 7 30 mm のホールソーを使って慎重に穴を1箇所あける。穴のエッジのバリ取りを行い、4 mm の丸やすりを使ってロック溝を施す。
- 8 **Saab 9-3 Viggen を除く全車：** インタークソケットのエキスパンディングスリーブをセットし、ヒーターのインタークソケットを取り付ける。  
**Saab 9-3 Viggen：** 前面からインタークソケットのエキスパンディングスリーブをセットし、バンパー裏側に補強プレート（別途発注）をセットする。ヒーターのインタークソケットを取り付ける。  
**全車：** 取り付けの際に温度センサーケーブルにインタークケーブルが引っ掛からないようにするため、ラジエーターの前でインタークケーブルを上へ向けて敷設する。インタークソケットを引っ張ってしっかり固定するために接続ケーブルを使用する。インタークソケットがしっかり納まる所まで時計回りに捻じる。
- 9 車をリフトアップし、ドレインプラグを締め付ける。



D930A607

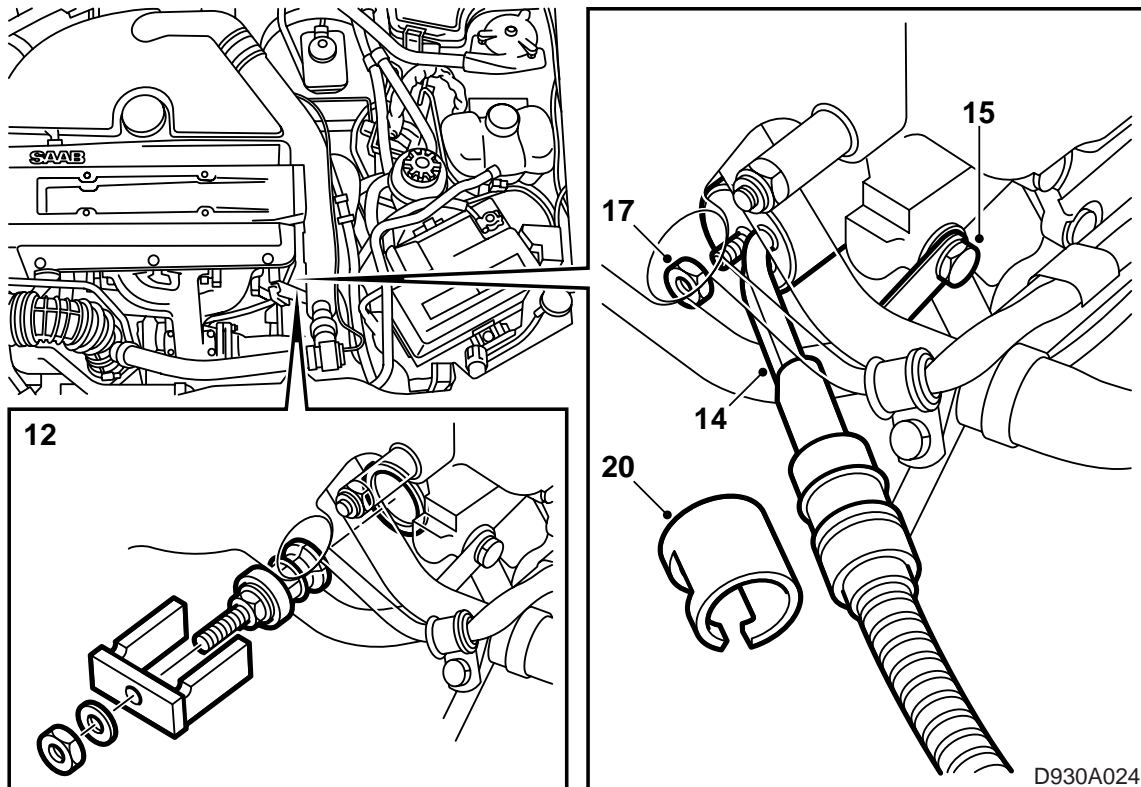
- 10 車をリフトダウンする。エキゾーストマニホールドを覆っている排気熱遮蔽板およびエンジンカバーを取り除く。

**ターボ:** インタークーラーとスロットルボディの間のターボチャージャーデリバリーパイプおよびバイパスパイプを取り外す。

**B205、B235:** ターボチャージャーデリバリーパイプとプレッシャセンサーを繋ぐホースを外し、インタークエア温度センサーのコネクターを外す。

- 11 **B204、B234、B206:** 酸素センサーケーブルのクランプをまず取り外すことにより、ウォーターポンプのパイプを外す。次にポンプとエンジンブロック両方のそばにある各パイプを外す。

**B205、B235:** 酸素センサーケーブルの結束バンドをまず取り外すことにより、ウォーターポンプのパイプを外す。次にポンプとエンジンブロック両方のそばにある各パイプを外す。



- 12 工具 260 147 020 を使用してフロストプラグを取り外す。
- 13 発熱体の 0 リングにパーツ番号 30 06 665 の無酸ワセリン、またはそれに相当するものを塗布する。
- 14 電気接続部が、少し下方で車の左側を向くようにして、発熱体を挿入する。ヒーターエレメントを保持するナットはまだ締め付けない。

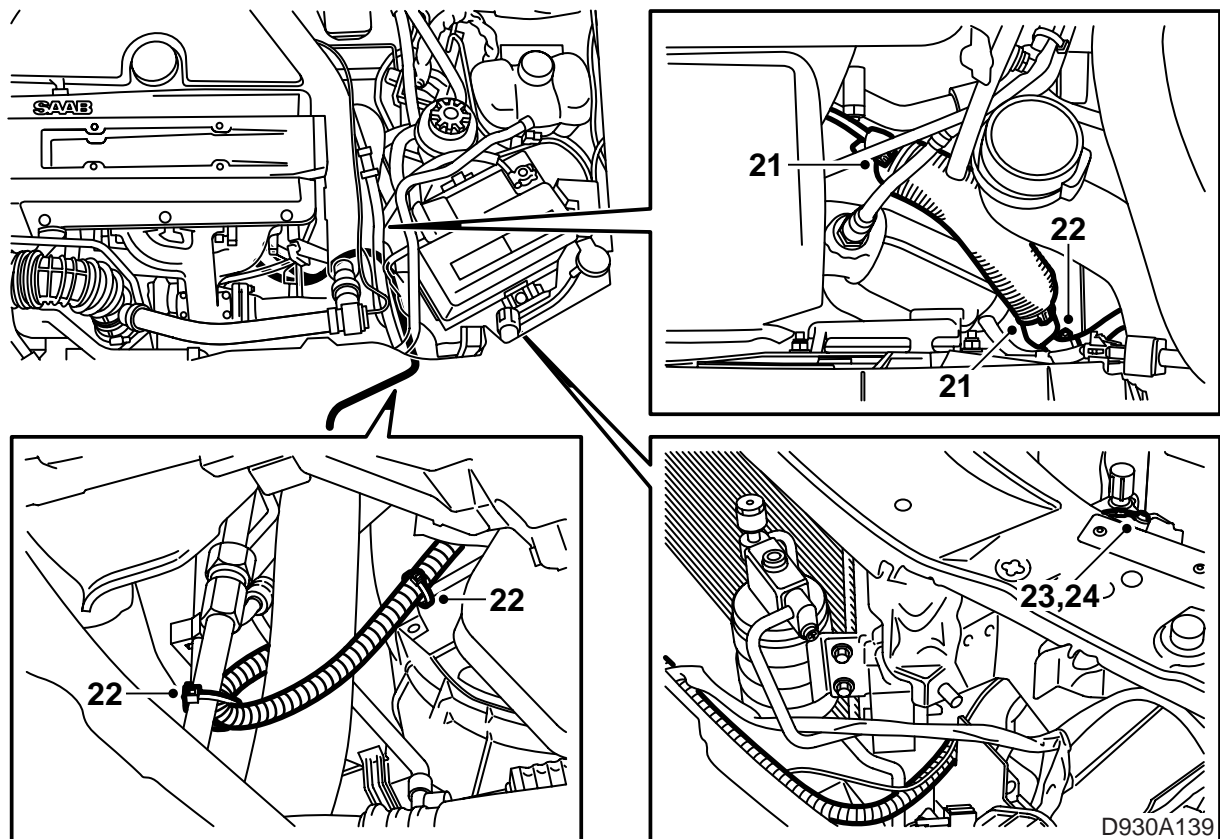
### 注記

取り付けに際して、ウォーターパイプとシリンダーヘッドのパイプの間に発熱体があるように注意すること。

- 15 ウォーターポンプとシリンダーヘッドの各パイプを取り付ける。0 リング類を点検し、必要に応じて交換する。
- 16 **B204、B234、B206:** 酸素センサーケーブルにクランプを取り付ける。  
**B205、B235:** 冷却液パイプに酸素センサーケーブルを固定する。
- 17 発熱体の位置を調整して他のパーツにあたらないようにし、ナットを締め付ける。

**締め付けトルク： 3.5 Nm (2.5 lbf ft)**

- 18 図に従ってインテークケーブルを敷設し、ケーブルにヒートインシュレーターを被せる。
- 19 発熱体の 0 リングにパーツ番号 30 15 286 の無酸ワセリン、またはそれに相当するものを塗布し、発熱体にインテークケーブルを接続する。
- 20 接続部にロッククリップを被せて取り付け。ロッククリップが正しく取り付けられると、カチッという音が聞こえる。



- 21 電気接続部を覆うようにヒートインシュレーターを固定し、ヒートインシュレーターの両端部を締め付けておく。

- 29 下記の方法により、冷却装置のエア抜きを行う：

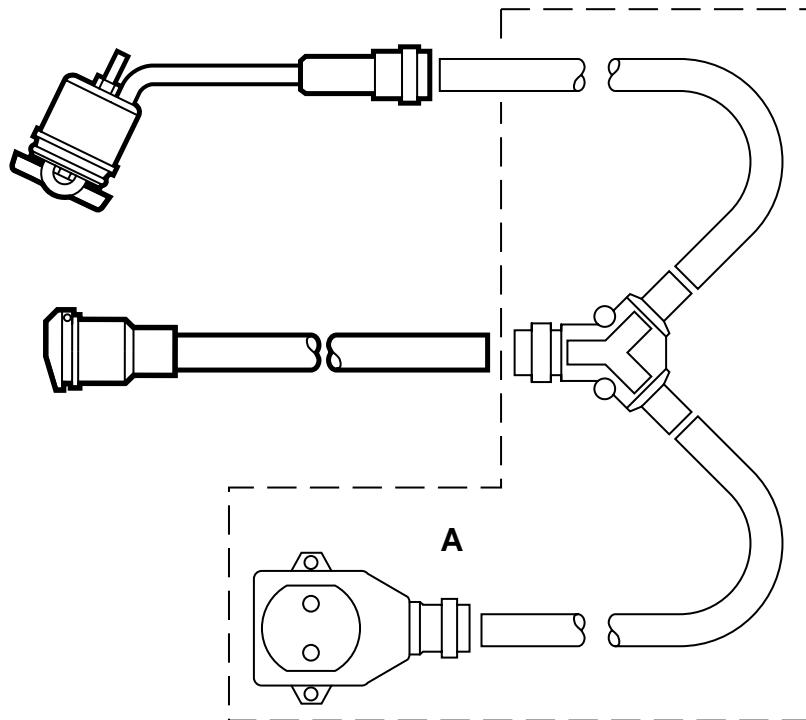
### 注記

AC/ACC が OFF 位置となっている必要がある。

- ⚠ 警告**

鋭いエッジや熱くなる面にケーブルが接触しないように気をつけること。搭載されている場合はターボチャージャーにも注意すること。擦り傷や溶解による損傷は、短絡の原因となる場合がある。
- 22 結束バンドを使い、ファンケースとパワーステアリングパイプにケーブルを固定する。
- 23 図を参照し、3.5 mm のドリルを使い、左ヘッドランプ背後のプレートに穴をあける。
- 24 アース接続を完全なものにするために塗装をきれいに掻き落としてから、ネジ 4.8x10 および歯付座金を使い、アース線をしっかりねじ留めする。パーツ番号 30 15 971 の浸透性防錆剤またはそれに相当するものをスプレーする。
- 25 インテークソケットのアース端子、ヒーターのケーシング、車のボディの間のアース中継を点検する。
- 26 排気熱遮蔽板とエンジンカバーを取り付ける。  
**ターボ：** バイパスパイプ付きのターボチャージャーデリバリーパイプ を取り付け、バイパスパイプにバキュームホースを取り付ける。
- 27 ヘッドライト、コンビネーションランプ、グリルを取り付ける。
- 28 冷却液を充填し、システムに漏れのないことを確認する。

- 冷却装置に MAX レベルまで冷却液を充填する。エキスパンションタンクのキャップを閉じ、エンジンを始動して冷却ファンがスタートするまで回転数を変化させながら暖機運転を行う。エキスパンションタンクのキャップを慎重に開き、再度 MAX レベルまで冷却液を満たす。キャップを閉じる。エンジンを切り、必要に応じて冷却液を補充する。
- 30 冷却装置に漏れがなく、ヒーターが機能することを確認する。
- 31 車に取付説明書を納め、顧客には利用の手引きがあることを指摘しておく。



D930A026

## A 分岐配線キット

## 利用の手引き

- 接続ケーブルは、屋外使用が認められた耐油性ゴムケーブルで、断面積が  $3 \times 1.5\text{mm}^2$  以上あるものを使用する必要があります。
- エンジンヒーターは、アースされたコンセントにのみ接続してください。
- ケーブル類は注意して取り扱ってください。ケーブルがボンネットとボディの間に挟まったり、鋭いメタルパーツで損傷する恐れがあるので、こうした点には特に気を付けてください。

**⚠ 警告**

インタークソケットのアース端子、ヒーターケーシング、および車ボディ間のアース中継を定期的に点検してください。

- 接続ケーブルは、損傷や劣化がないか定期的に点検してください。損傷のあるケーブルは直ちに交換しなければなりません。

## 注記

下記の場合、ヒーターの機能が低下する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が混入している場合
- システムにみぞれ状の氷がある場合
- ラジエーターセメントが使用されている場合